

かながわ京浜臨海部ニュース 平成30年 8月号



今号のINDEX

- 京浜臨海部で水素がアツイ p1
- 県内初の再エネ水素ステーションについて p2
- ホテルの燃料電池向けに使用済プラスチック由来低炭素水素の供給を開始 p2
- 次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合の実証事業について p3
- 水素の近くでちょっと一息 p3
- 京浜臨海部の父 浅野総一郎の銅像をめぐる 第1弾 p4

京浜臨海部で水素がアツイ！



太陽光と水から水素を製造できる再エネ水素ステーションが麒麟ビール横浜工場に設置されました。



ホテルに泊まって使用したアメニティ（歯ブラシ、くし、ブラシ等）が水素になって電気とお湯に返ってくる「水素ホテル」がオープンしました。



脱水素プラント@川崎市
完成予想図

京浜臨海部では、水素関連施設が次々とオープンしています。今回は、京浜臨海部の水素関連施設について御紹介します。

県内初の再エネ水素ステーションについて

神奈川県では、かながわスマートエネルギー計画の基本政策である「分散型エネルギー源の導入拡大」に向け、水素エネルギーの導入を促進するため、再生可能エネルギー由来の水素が製造可能な「神奈川県再エネ水素ステーション（スマート水素ステーション）」を鶴見区生麦の麒麟ビール横浜工場内に設置しました。



この水素ステーションでは、同工場に設置されている薄膜太陽電池で発電した再生可能エネルギーを利用して、水を電気分解すること

でCO₂フリーの水素を製造することが可能です。この水素を地元のタクシー事業者の燃料電池自動車（FCV）に充填して、ハイヤーとして運行しており、水素製造時から走行時までCO₂を出さない究極のクリーンFCVが京浜臨海部を走っています。

神奈川県では、今回設置した水素ステーションを通じて、CO₂フリー水素社会の具体的なイメージのPRを図っていきます。

（注）団体での見学希望についてはエネルギー課にお問い合わせください。なお、フェンスの外からは自由に（月曜日以外、月曜が祝日の場合翌平日以外）見学いただけます。

■ 問合せ先／神奈川県産業労働局産業部エネルギー課 電話：（045）210-4133

ホテルの燃料電池向けに使用済プラスチック由来低炭素水素の供給を開始



「ホテルは、使用済みのプラスチックがたくさん出てくるんだ。聞くとところによると昭和電工は、プラを水素に出来るそうじゃないか」。当社では、東急ホテルの開業にあたり、エコアイデアを実現してみました。

昭和電工株式会社は、川崎事業所で製造する使用済プラスチック由来の低炭素水素を、6月1日に開業した川崎キングスカイフロント東急REIホテルに向けて、供給を開始しました。

同社川崎事業所では、アンモニア製造工程において、原料となる水素を容器包装リサイクル法による使用済プラスチックから取り出す製造方法を2003年から導入しています。本製造方法では使用済プラスチックを原料とすることで化石燃料の消費を抑えるだけでなく、製造工程で発生する二酸化炭素をドライアイスにリサイクルするなど副産物を資源として有効活用しており、従来の製造方法に比べ、環境負荷の低減に大幅に寄与しています。

本取組みは、環境省の「使用済プラスチック由来低炭素水素を活用した地域循環型水素地産地消モデル実証事業」に採択されています。

使用済プラスチック由来の低炭素水素が燃料電池向けにホテルに導入されたのは世界でも初めてです。川崎キングスカイフロント東急REIホテルでは、今後、低炭素水素を大型燃料電池により電気や熱などのエネルギーとして利用いたします。

是非、「水素ホテル」に泊りに行ってみましょう。



■ 問合せ先／昭和電工株式会社 広報室 電話：（03）5470-3235
川崎キングスカイフロント東急REIホテル 電話：（044）280-1090

次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合の実証事業について

千代田化工建設株式会社、三菱商事株式会社、三井物産株式会社、日本郵船株式会社の4社は、次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合（英語名：Advanced Hydrogen Energy Chain Association for Technology Development、略称：AHEAD）を設立し、世界に先駆けて水素の国際間サプライチェーンの実証事業に本格着手しました。

本事業は、2015年に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成を受け、ブルネイ・ダルサラーム国政府・川崎市の支援のもと行われるものです。

ブルネイ・ダルサラーム国に水素化プラント、川崎市臨海部に脱水素プラントを建設し、ブルネイで調達した水素を、常温・常圧下で液体の形で日本へ海上輸送し、川崎市臨海部で気体の水素に戻して需要家に供給するという有機ケミカルハイドライド法^{*1}を用いた国際間の水素サプライチェーン実証を行います。

現在2020年の実証運転を目指してプラント建設中です。

水素社会の実現に向け、本サプライチェーン実証事業を遂行する事で、微力ながらも寄与できるよう、関係者一同全力で対応して参ります。

*1：【有機ケミカルハイドライド法】

水素とトルエンを化学反応によりメチルシクロヘキサンという常温常圧で液体の物質に変換させて貯蔵・輸送し、水素需要先においてトルエンと水素に分離（脱水素反応）して気体の水素を供給するもの。

千代田化工建設は、この方式の商業レベルでの運用を可能とする脱水素触媒の開発に成功した。



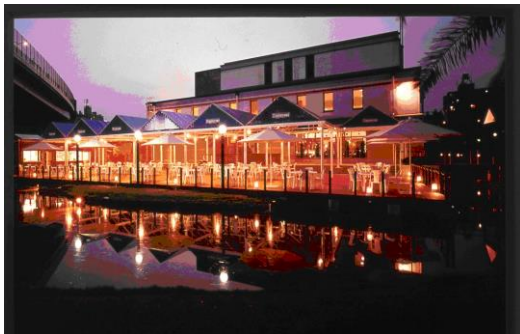
水素製造および水素化プラント
@ブルネイ・ダルサラーム国完成予想図

■ 問合せ先/AHEAD 企画管理部 企画管理課 五十嵐 電話：(045) 225-4756

水素の近くでちょっと一息

キリンビール横浜工場内レストラン「ピアポート」で
夏限定「バーベキューガーデン」オープン！
緑豊かな屋外で工場直送の新鮮なビールと自
慢のバーベキューを堪能できます。

【営業期間】10月8日（月）まで
平日・ 15:00～22:00（L.O.21:15）
土・日・祝・ 11:00～22:00（L.O.21:15）
休業日・月曜日（祝日の場合営業/翌平日が休業）



<http://www.kirin.co.jp/bvyokohama>

キャプテンズグリル アンド バー

川崎キングスカイフロント東急REIホテルの
5Fに位置するレストランでは、グリル料理を
中心とした上質なメニューを、多摩川と羽田空
港という、圧巻のビューを前に味わえます。

【営業時間】
07:00～10:00（L.O.10:00）
11:30～14:30（L.O.14:00）
17:30～22:00（L.O.21:30）



<https://www.tokyuhotels.co.jp/kawasaki-r/restaurant/index.html>

■ 問合せ先/バーベキューガーデン 電話：(045) 503-8250
川崎キングスカイフロント東急REIホテル 電話：(044) 280-1090



「京浜工業地帯の父」と呼ばれている実業家 浅野総一郎氏は有名ですが、浅野氏の銅像が複数あるのをご存知でしょうか。浅野総一郎氏の銅像をめぐりながら、京浜臨海部の企業等をご紹介します。



浅野 総一郎 (1848-1930)

【出生】

嘉永元年3月10日(1848)越中国氷見郡菟田村(現・富山県氷見市)に、医師である浅野泰順の長男として生まれる。(幼名は泰治郎)

【京浜臨海部の埋立】

東京湾築港の構想に併せて、明治41年(1908)に、工業用地として鶴見・川崎間の海岸沖150万坪の埋立を神奈川県庁に出願する。

金融機関の確かな人の連署がないと許可できないとの回答があったが、安田財閥の創始者、安田善次郎が実地調査のうえ投資の約束をし、明治45年(1912)匿名組合組織である鶴見埋立組合(現・東亜建設工業)を設立して出願、大正2年(1913)許可された。

この埋立事業は昭和3年(1928)に完成をみる。その間造成地には、浅野セメント川崎工場、浅野造船所、浅野の娘婿である白石元治郎が経営する日本鋼管など浅野系企業のほか、旭硝子、石川島造船所、芝浦製作所、富士電機などが次々と進出した。また工業用地として機能させるため、電力供給、水道、鉄道などの事業もおこした。

(出典：社史と伝記にみる日本の実業家-人物データと文献案内- 神奈川県立図書館・神奈川県立川崎図書館)

【株式会社 デイ・シイ】

川崎工場は「日本のセメント王」浅野総一郎が興した「浅野セメント株式会社川崎工場」として1917年に操業を開始しました。その後、1929年に高炉セメントの製造を開始し、1941年に「日本高炉セメント株式会社」として独立。1949年に「第一セメント株式会社」に社名変更。2003年に骨材を取り扱う中央商事株式会社と合併し現社名に変更。幾多の変遷を経て、建設資材サプライヤーとして今日に至っています。



旧銅像

株式会社デイ・シイとしては、1949年を創業としており、来年創業70周年を迎えます。

セメント事業は、近隣工場で発生する産業廃棄物や副産物、建設発生土などの有効利用の拡大を進め、セメント・混和材・地盤改良材をはじめ、年間約140万トンの各種製品を製造し、社会基盤整備の役割を担っています。

また、工場敷地内にある、浅野セメント操業当時に建設されたコンクリート製「セメントサイロ」は現在も使用されており「近代産業遺産」に認定されています。

創業地である川崎工場には、浅野氏の銅像が2体あります。

左の銅像(材質・制作年不明)は、旧銅像で、現在は技術センター入口に飾られています。

右の銅像(ブロンズ製)は、昨年2017年に、川崎工場が創業百周年を迎えた記念で作られました。川崎工場の受付に飾られており、視線の先に今後の京浜臨海部とデイ・シイの発展を見据えているようです。



百周年記念銅像

■ 問合せ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 折原 電話：(045) 210-3255



編集・発行・問合せ先

神奈川県政策局自治振興部地域政策課 担当：折原 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 (045)210-3255 ファクシミリ (045)210-8837

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/civ/0602/>

かながわ京浜臨海部ニュース平成30年8月号

(お問い合わせは、こちらのホームページ下部の「お問い合わせフォーム」からお願いします。)